

ふじさわ市 議会だより

主な内容

- 議会の新しい構成決まる…………… 2面
- 新しい市民の代表です…………… 3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 一般質問・意見書…………… 6面
- 常任委員会・特別委員会の動き…………… 7面
- 議案等審議結果一覧…………… 8面

No.234

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 令和元年(2019年)7月25日
 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123
 ホームページアドレス <http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/>

5月臨時会
6月定例会

教育のICT環境を整備する

学校教育用ICT機器の取得議案を可決

5月臨時会は、5月14日及び21日に開催され、新しい議長・副議長・常任委員会委員などを選任しました。
 6月定例会は、6月6日から26日までの21日間にわたり開催され、市長から提出された「財産の取得について(学校教育用ICT機器)」など26議案が可決されました。
 また、議員提出による「ライドシェアの推進に対する慎重な検討を求める意見書」ほか1件の意見書が可決されました。

○財産の取得について(学校教育用ICT機器)

この議案は、藤沢市立学校等に学習用のICT環境を整備するため、財産の取得をするもの。

【取得する財産】プロジェクタ1724台、実物投影機531台、その他附属品

【契約の相手方】株式会社有隣堂藤沢営業所

【取得価格】1億2632万1832円

【取得時期】令和元年8月30日

○藤沢市図書館に関する条例及び藤沢市民ギャラリー条例の一部改正について

この議案は、藤沢市市民図書館及び藤沢市民ギャラリーを「江ノ電第1ビルODAKYU湘南GATE(旧小田急百貨店藤沢店)6階」に暫定移設するため、各条例の一部を改正するもの。

【条例の主な内容】

・南市民図書館の所在地「鶴沼東8番2号」と藤沢市民ギャラリーの所在地「藤沢438番地の1」をそれぞれ「南藤沢21番1号」とする。

【施行日】令和元年7月1日

○藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

この議案は、国が定める家庭的保育事業等の設備及

び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。
 【条例の主な内容】
 ・家庭的保育事業等は、連携施設の確保を原則とし、卒園後の受け入れの役割を担う施設を、保育所、幼稚園、認定こども園から確保する必要があるが、その確保が著しく困難であると認められる場合は、その規定を適用しないこととする事ができる。

【施行日】公布の日

ただし、第6条第5項各号に定める施設から適切に確保しなければならぬと

【工事請負契約の締結について(藤沢駅北口交通広場再整備工事)】

【契約の相手方】日高建設・清光建設共同企業体

【工事の概要】①車道舗装工事一式②歩道舗装工事一式③排水構造物工事一式④道路付属物工事一式⑤附帯工事一式

【契約金額】3億7829万円

【工事の場所】藤沢市藤沢555番地先

【竣工予定日】令和2年6月30日

○令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第2号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億8791万8千円を追加し、補正

後の予算総額を1497億3625万4千円とする。

主な補正内容は、次のとおり。

▽障がい児通所給付費等事業費1802万円

▽就学前の障がい児通所サービスに係る事業所利用料の無償化に対応するため、障がい者自立支援給付システムの改修等に要する経費。

▽臨時・特別給付金事業費1719万円

児童扶養手当受給者のうち未婚のひとり親に対し、消費税率の引き上げによる影響を緩和するために支給する経費。

令和2年4月の開所に向けて賃借・改修型で整備を行う法人立認可保育所及び老朽化した園舎の再整備を行う法人立認可保育所に対し、補助する経費。

▽湘南台文化センター整備費II限度額3008万3千円

老朽化による音質及び機能の低下と、不具合が発生した湘南台文化センター市民シアターの音響設備について、良質な音響環境を安

市内高等学校と連携し開かれた議会運営を行う

藤沢市議会では、議会基本条例を制定し、市民が開かれた議会運営を行うとともに、市民の意見を把握し、市政に反映させるための政策立案等に取り組んでいます。

その一環として、本年7月3日、シチズンシップ教育(※2)に積極的に取り組んでいる神奈川県立湘南台高等学校に、市議会との連携・協働に関する協力要請を加藤一議長(左から2人目)、柳田秀憲広報広聴委員会委員長(右から2人目)、桜井直人同副委員長(右端)らが提出しました。

今後、生徒の皆さんから、市政に対するさまざまな意見や要望をいただき、反映していきたいよう市議会として市に働きかけをしていきたいと考えています。



若い世代の声を市政に反映していく

議会の動き

【5月】	8日	議員全員協議会
	14日	議員全員協議会
	21日	臨時会(第2回)本会議
	31日	厚生環境常任委員会 災害対策等特別委員会
【6月】	3日	議会運営委員会
	6日	議会運営委員会
	10日	本会議(第1日)
	10日	本会議(第2日)
	11日	建設経済常任委員会
	12日	厚生環境常任委員会
	13日	子ども文教常任委員会
	14日	総務常任委員会
	17日	補正予算常任委員会
	18日	広報広聴委員会
	20日	議会運営委員会
	21日	本会議(第3日)
	21日	議会運営委員会
	24日	本会議(第4日)
	24日	議会運営委員会
	25日	本会議(第5日)
	25日	議会運営委員会
	26日	本会議(第6日)
	26日	議会運営委員会
	26日	本会議(第7日)
	28日	広報広聴委員会 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会

(※1) 債務負担行為…債務を負担する契約を結ぶ際に、予算の一部として議会の議決により、将来の財政支出を設定する行為。
 (※2) シチズンシップ教育…社会参加する能力と態度を育成するための教育。

議会の新しい構成決まる

議長に加藤氏、副議長は有賀氏

議会選出監査委員には、井上氏と武藤氏

5月14日に開催された改選後初の議会(臨時会)において、投票による選挙の結果、議長に加藤一議員(ふじさわ湘風会)、副議長に有賀正義議員(民主・無所属クラブ)を新たに選任しました。

5月21日に開催された臨時会(第2回)において、議会選出の監査委員に井上裕介議員(市民クラブ藤沢)と武藤正人議員(藤沢市公明党)を選任することに同意しました。また、総務・厚生環境・建設経済・子ども文教・補正予算の5常任委員会、行政改革等・災害対策等・藤沢都心部再生・公共施設再整備の3特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会の委員を選任しました。

常任・特別委員会委員等も選任



本会議風景(起立採決)



委員会風景

議長	加藤 一	副議長	有賀 正義	監査委員	井上 裕介・武藤 正人
----	------	-----	-------	------	-------------

常任委員会

市の仕事全体を、総務・厚生環境・建設経済・子ども文教の4つと補正予算に分け、関係する議案や請願・陳情などを審査します。

総務	厚生環境	建設経済	子ども文教	補正予算
市政全体の計画や調整、行財政運営、広報活動、消防・災害対策など	福祉・保健・医療対策、ごみの収集と処理、環境対策など	産業の振興、公園・緑地・下水道・道路の整備と保全、区画整理など	義務教育の充実、次世代育成対策、生涯学習・スポーツの振興など	補正予算に関すること
◎友田 宗也 ○桜井 直人 山内 幹郎 松長 由美 甘粕 和彦 柳田 秀憲 有賀 正義 堺 英明 松下 賢一郎	◎神村 健太郎 ○佐賀 和樹 土屋 俊則 原田 建悟 石井 世悟 清水 竜太郎 永井 久代 東木 淳基 吉田	◎北橋 節男 ○大矢 徹 味村 耕太郎 安藤 好幸 山井 政哉 井上 裕介 杉原 栄子 武藤 正人	◎平川 和美 ○竹村 雅夫 柳沢 潤 西尾 江里 神谷 津英 栗原 貴司 佐野 洋紀 塚本 昌紀	◎永井 讓智 ○西村 耕太郎 味村 世悟 石井 竜太郎 清井 竜裕 井上 和正 甘粕 正秀 武藤 英明 柳田 秀英

特別委員会

特に重要な問題や、2つ以上の常任委員会に関連する問題を集中的に審査するため、必要に応じて設置します。

行政改革等	災害対策等	藤沢都心部再生・公共施設再整備
市民ニーズに対応した質の高い行政サービスの提供、簡素で効率的かつ民主的な市政の実現	災害等から市民の生命、身体及び財産を保護、災害の拡大防止と被害の軽減	藤沢都心部における都市機能の強化・再構築及び公共施設の機能更新・再整備など
◎清水 竜太郎 ○神村 健太郎 柳沢 潤次 原田 建悟 西尾 智 松長 由美 井上 裕介 友田 宗也 杉原 栄子 武藤 正人 竹村 雅夫 塚本 昌紀	◎堺 英明 ○東木 久代 山内 幹郎 石井 世悟 安藤 好幸 神尾 江里 北橋 節男 佐野 洋 柳田 秀 有賀 正義 加藤 一	◎山口 政哉 ○永井 俊則 土屋 耕太郎 味村 和樹 佐谷 英美 栗原 貴司 大矢 徹彦 甘粕 和彦 平川 和美 吉田 淳基 松下 賢一郎

議会運営委員会

議会が公正・円滑に運営されるように協議するとともに、議会に関する議案や請願・陳情などを審査します。

◎吉田 淳基 柳沢 潤次 安藤 好幸 北橋 節男 東木 久代	○竹村 雅夫 佐賀 和樹 栗原 貴司 友田 宗也 堺 英明
--	---

広報広聴委員会

「ふじさわ市議会だより」の編集や議会報告会等の開催に関することなどを審査します。

◎柳田 秀憲 山内 幹郎 松長 由美 杉原 栄子 竹村 雅夫	○桜井 直人 清水 竜太郎 山口 政哉 平川 和美 神村 健太郎
--	--

(◎は委員長、○は副委員長)
※議長は、今期建設経済常任委員会委員を辞任。

新しい市民の代表です

4月21日に行われた藤沢市議会議員選挙において、次の36人が選出されました。

写真	議席 番号	ふり 氏名
	住所または連絡所	
	所属党派名	当選 回数

	1	つちや としのり 土屋 俊則
	西富467番地の8	
	日本共産党 藤沢市議会議員団	3

	2	みむら こうたろう 味村 耕太郎
	善行団地 3番21~101号	
	日本共産党 藤沢市議会議員団	2

	3	やまうち みきお 山内 幹郎
	辻堂東海岸2丁目 2番7号	
	日本共産党 藤沢市議会議員団	2

	4	やなぎさわ じゅんじ 柳沢 潤次
	長後749番地	
	日本共産党 藤沢市議会議員団	8

	5	はらだ たける 原田 建
	朝日町15番地の2	
	アクティブ藤沢	3

	6	いしい せいご 石井 世悟
	本藤沢7丁目7番10号	
	市民クラブ藤沢	1

	7	にし さとし 西 智
	弥勒寺4丁目3番11号	
	市民クラブ藤沢	2

	8	さくらい なおと 桜井 直人
	長後733番地	
	市民クラブ藤沢	4

	9	さが わき 佐賀 和樹
	鶴沼松が岡1丁目 15番10号	
	市民クラブ藤沢	6

	10	あんどう よしゆき 安藤 好幸
	土棚8番地 いすゞ自動車労働組合藤沢支部内	
	民主・無所属クラブ	1

	11	かみお えり 神尾 江里
	辻堂西海岸2丁目 7番1~402号	
	民主・無所属クラブ	1

	12	たにづつ えみ 谷津 英美
	鶴沼石上2丁目 2番2~501号	
	民主・無所属クラブ	1

	13	しみず りょうたろう 清水 竜太郎
	藤沢991番地の19 藤沢ダイカンプラザ901号	
	民主・無所属クラブ	2

	14	くりはら たかし 栗原 貴司
	鶴沼橋2丁目4番3号	
	市民クラブ藤沢	1

	15	まつなが ゆみえ 松長 由美絵
	辻堂3丁目6番3号	
	市民クラブ藤沢	1

	16	きたはし せつお 北橋 節男
	亀井野1丁目 10番地の13	
	市民クラブ藤沢	2

	17	やまぐち まさや 山口 政哉
	片瀬海岸1丁目 13番18~1008号	
	市民クラブ藤沢	2

	18	いのうえ ゆうすけ 井上 裕介
	川名2丁目1番2号	
	市民クラブ藤沢	4

	19	ともだ そうや 友田 宗也
	大庭5683番地の2 駒寄11~201	
	民主・無所属クラブ	3

	20	おおや とおる 大矢 徹
	鶴沼藤が谷4丁目 17番5~302号	
	民主・無所属クラブ	3

	21	ながい ゆずる 永井 譲
	亀井野3207番地の35	
	民主・無所属クラブ	3

	22	すぎはら えいこ 杉原 栄子
	辻堂西海岸1丁目 5番6~12号	
	ふじさわ湘風会	1

	23	あまかす かずひこ 甘粕 和彦
	藤が岡2丁目12番6号	
	ふじさわ湘風会	1

	24	さの ひろし 佐野 洋
	瀬郷212番地	
	ふじさわ湘風会	1

	25	ひらかわ かずみ 平川 和美
	亀井野1001番地の41	
	藤沢市公明党	2

	26	ひがしき ひさよ 東木 久代
	石川2丁目16番地の10	
	藤沢市公明党	3

	27	むとう まさひと 武藤 正人
	辻堂神台2丁目 2番20号	
	藤沢市公明党	3

	28	やなぎだ ひでのり 柳田 秀憲
	片瀬山2丁目2番13号	
	民主・無所属クラブ	5

	29	たけくら まさお 竹村 雅夫
	藤沢545番地の1 ライオンズマンション 湘南藤沢第2 202号	
	民主・無所属クラブ	4

	30	ありが まさよし 有賀 正義
	辻堂東海岸3丁目 9番FW~109号	
	民主・無所属クラブ	4

	31	さかい ひであき 堺 英明
	大庭5068番地の18	
	ふじさわ湘風会	2

	32	よしだ あつき 吉田 淳基
	辻堂元町2丁目 6番39号	
	ふじさわ湘風会	3

	33	かみむら けんたろう 神村 健太郎
	辻堂東海岸1丁目 14番2号	
	ふじさわ湘風会	2

	34	かとう はじめ 加藤 一
	弥勒寺1丁目19番7号	
	ふじさわ湘風会	4

	35	つかもと まさき 塚本 昌紀
	大庭5128番地の7	
	藤沢市公明党	5

	36	まつた けんいちろう 松下 賢一郎
	辻堂新町3丁目 8番40号	
	藤沢市公明党	6

若者の社会参加の促進

公民館の重点事業に位置づけ 新たな利用者層の開拓を目指す

神村 健太郎 (ふじさわ湘風会)

若者の社会参加を促進するために、生涯学習の機能と役割は今後どうあるべきと考えるか。

また、本市として、生涯学習施設が地域の方々と同様若者にも身近な拠点となるために、どのように支援していくのか聞きたい。

近年、SNSの普及に伴い、対面でコミュニケーションをとる機会の減少が課題となっていることから、若者が地域社会で異世代と関わり、学び合うことが重要となっている。このことから、若者に対する生涯学習の機能と役割は、社会参加を促すための動機づけであるとして認識しており、今後ますます高めていく必要があると考えている。

行革課題の委託業務 市民サービスの向上を

井上 裕介 (市民クラブ藤沢)

行財政改革2020実行プランの個別課題である電話交換業務の委託化については、市民サービスの低下や財政的効果から、当初見込んだ成果が出ていないように思うが、行財政改革の視点として、この課題に

者にとって身近な拠点となるためには、まず足を運ぶ環境づくりが大切であるとの考えから、公民館の重点事業に、新たな層の開拓を進める事業を位置づけ、取り組んでいる。具体的には、若者が比較的に参加しやすい夜間の時間帯に、各種講座やセミナー等を開催し、公民館事業への参加を促進している。

この事例の検証をしっかりと行い、行財政改革を推進すべきと考えるが、市民の見解を聞きたい。

今回の事例について、事業担当課等による検証を行い、さらなる改善に努めていく。

学校防犯カメラ設置 子どもの安全を築く

友田 宗也 (民主・無所属クラブ)

市は防犯カメラの増設を推進しているが、県内市立小中学校における防犯カメラの設置状況を調査したところ、未設置市は藤沢市ほか1市のみであった。学校への設置には校長や神奈川県警から要望が上がっていることから、学校に防犯カメラを設置すべきと考えるが、市及び教

また、今後、市民サービスに直結する業務の委託を行う際には、今回の事例を踏まえた上で、業務の効率化だけでなく、市民サービスの維持向上につながるよう、委託における体制等の仕様の精査や、事前準備の徹底に取り組んでいく。

津波避難対策 外国人観光客に対応

石井 世悟 (市民クラブ藤沢)

セーリングワールドカップや東京2020オリンピック競技大会に向け、訪れることが想定される。市外や海外からの観光客に対する津波避難対策の現状と、今後の取り組みについて聞きたい。

観光客が多く訪れる江の島では、参道沿いの夜間照明用の支柱等に、津波避難のピクトグラムや英語表記による誘導標識を10カ所設置している。また、海岸沿いでは、近隣の津波避難ビルの位置を示した案内看板を16カ所設置するとともに、沿岸地域では、避難

急激な高齢化が進む湘南大庭地区の活性化については、住宅などハード面の課題にとどまらず、一人暮らしの高齢者の見守りや支え合いなどの福祉的な取り組みを初めとした、持続可能な地域コミュニティの構築などのソフト面の課題が挙げられる。これらの解決に向けて、地区全体の実情を把握した上で、市内各部署の横断的な連携により取り組む必要があると考える。

また、この地区の2040年に向けた人口推計を見据え、ハード・ソフト両面の課題に対し、藤沢型地域包括ケアシステムを着実に推進するとともに、市民の皆さまと地域の将来や地区全体の活性化に向けた議論

英語表記により外国人観光客に配慮した津波避難誘導標識



英語表記により外国人観光客に配慮した津波避難誘導標識

新たな交通施策で 交通空白地の解消を

平川 和美 (藤沢市公明党)

今後、高齢者の免許返納がふえることに伴い、公共交通の利便性向上に向けた取り組みが重要になると考える。公共交通のサービ

圏域に入らない、いわゆる交通空白地は市内に数多くあり、安心してどこへでも出かけられる交通環境の整備が求められるが、交通空白地の解消に向けた取り組みについて聞きたい。

公共交通の充実については、通勤・通学時の利便性向上を含んだ「最寄り

駅まで15分の交通体系の構築」の施策において、鉄道延伸や新駅設置、連節バス

の導入やバス路線の新設など、総合交通体系の構築の一環として取り組みを進めている。

一方で、買い物や通院など、日常生活に必須となる最低限の移動手段の確保として「交通空白地の解消」が求められており、一定程度需要が見込まれる地域については、公共交通として「のりあい善行」などの地域主体の公共交通や、バス会社に運行を要請する地域提案型バスの取り組みを進めている。

今後は、全ての市民を対象とする新たな交通施策の展開について、地域の要望等を捉え、藤沢型地域包括ケアシステムを推進する中で検討を進めていく。

見込みを上回る定員数を確保できる見通しとなっている。しかしながら、1、2歳児については申込者数の見込みに対し定員の不足が見込まれる。

定員拡大数については、平成31年4月の本市の待機児童は174人と県内ワーストであり、特に3歳児未満の定員が不足している。待機児童ゼロの目標に向けて、定員数の拡大は説得力のある予測計算をもとに対応すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

令和2年4月に向けて予定されている、認可保育所の新設整備等による592人の定員拡大に対して、申込者数が今年度比2%増加することを前提に推計すると、ゼロ歳児及び3〜5歳児については申込者数の

増加する保育ニーズに対応していく。

また、今後の取り組みとしては、保育士への奨学金返済補助や宿舎借り上げ補助などの事業を充実させることで保育士の確保を進め、増加する保育ニーズに対応

大規模災害時 SNSによる情報収集手段 技術革新の動向により活用する

清水 竜太郎 (民主・無所属クラブ)

大規模災害時には被害情報の収集が重要となる。神戸市などはAI技術を活用したSNSによる情報収集の実験をしているが、本市の情報収集の現状とSNSの活用について、見解を

聞きたい。

大規模災害時のSNSの活用については、現在、ツイッターを避難情報の発信や避難施設開設情報の周知に利用しているが、情報収集ツールとしてまでは用いていない。

本市では、協定を締結しているNPO法人藤沢災害救援ボランティアネットワークが、地域防災Webを用いて、災害時に被害情報等を登録する、災害情報コーナーインターネットの育成に取り組んでいる。

SNS等の活用については、今後、情報の信頼性や受信態勢の構築などの課題が技術革新等により解決できれば、救助要請のみならず幅広い災害情報を収集できる大変有用な手段になり

得るものと認識している。本市としては、他自治体の先進事例や今後の技術動向を注視するとともに、市民団体や関係部局と連携し、取り組んでいく。

まちづくりの再整備 新プロジェクト推進を

堺 英明 (ふじさわ湘風会)

少子高齢・人口減少が予想される湘南大庭地区の活性化については、ハード・ソフト両面からの課題解決が必要と考える。まちづくりの再整備に向けて明確な期限と目標を持ち、各部署間の横断的連携による強固な関係で事業を進めていく、新たなプロジェクトを推進すべきと考えるが市

の見解を聞きたい。

日本一と誇れる事業 独自の魅力を高める

塚本 昌紀 (藤沢市公明党)

人口減少時代に突入り、激化している自治体間競争を勝ち抜くためには、日本一と誇れるような事業に、より一層力を入れて取り組まなければならないと考える。限られた税財源の中で未来に禍根を残すことなく、市政にめり張りをつけて運営していく必要がある。市の見解を聞きたい。

本市が人口増加を続ける中で、多様な主体とのマルチパートナーシップをさらに推進し、さまざまな分野で他市にはない強みを全国へ発信していくことで、市民の皆さまに誇りを感じていただけるよう取り組んでいく。

今後の取り組みとして、藤沢ゆかりの偉人、「藤沢が発祥の地であるもの」及び「藤沢が日本一のもの」等、藤沢にしかないものを積極的にPRし、取り組む視点が一層重要なものとなるべく考えていく。

厳しい財政状況の中にあっても、多様な主体とのマルチパートナーシップをさらに推進し、さまざまな分野で他市にはない強みを全国へ発信していくことで、市民の皆さまに誇りを感じていただけるよう取り組んでいく。



若者にも身近な拠点となることを目指す生涯学習施設=Fプレイス

一般質問

主な質問と答弁

キャッシュレスシティ

外国人観光客の利便性向上

東京2020大会の観光振興につなげる

山口 政哉

(市民クラブ藤沢)

質問 東京2020大会を契機に今後も外国人観光客の増加が予想される中、キャッシュレス化を図ることによって利便性が向上し、観光振興等につながることを考える。開催会場となる江の島周辺での対応状況について聞きたい。

答弁 本市では、外国からの来訪者の増加に伴い、キャッシュレス化は大変重要な課題であると捉えている。藤沢商工会議所及び鎌倉商工会議所が協働し、藤沢・鎌倉エリアにおける「キャッシュレスシティ」の実現に向け、決済システム導入に対して、地域の商工会議

所や観光協会、商店会の会費に初期費用がなく、手数料も低いプランを提供している。また藤沢市観光協会でも、東京2020大会の開催地である江の島及びキャッシュレス化を図ることによって利便性が向上し、観光振興等につながることを考える。開催会場となる江の島周辺での対応状況について聞きたい。

答弁 今回の調査結果から取扱店舗が徐々に増加しているほか、江の島岩屋や藤沢市観光センターもこの制度を利用し、キャッシュレス化を図れるよう調整を行っている。

子どもや家庭の課題

総合教育会議で共有

竹村 雅夫
(民主・無所属クラブ)

質問 本市の「子どもと子

困対策、いじめ防止に関する取り組み、地域における子どもの育ちや見守り、教職員の働き方改革等をテーマとして協議を行い、教育政策の方向性について教育委員会と共有を図ってきた。子どもたちが学びを通して未来や目標に向かって生きる力を育み、全ての市民が優しく手を差し伸べ合う笑顔あふれる幸せなまちをつくるため、今後も総合教育会議等を通じて市全体で課題や認識を共有し、子どもたちや子育て家庭に寄り添う取り組みをこれまで以上に進めていく。

プロスポーツ誘致
地域経済の活性化
桜井 直人
(市民クラブ藤沢)

質問 各種スポーツにおけるプロ化が目覚ましいスピードで進んでおり、プロチ

ーム誘致や、その地で生み出し、育てていくことで町の再活性化を図っている自治体は非常に多くある。神奈川県内でも横浜市を初め、政令市等で積極的な力を入れているが、本市の見解を聞きたい。

答弁 本市にプロスポーツチームを誘致することは、プロスポーツ選手が身近な存在となり、スポーツ熱が高まるなど、チームと地域に一体感が生まれるとともに、子どもたちに夢や希望を与えるなど、地域の活性化や潤いを生み出す源となり、さまざまな経済効果が期待されると考えている。しかしプロスポーツ等の大会が開催できるスポーツ施設を新たに整備するには、用地取得、近隣住民との合意形成、関係団体との調整の課題や、また活動に当たっての定期的な施設確保などが必要となることから、市民のスポーツ活動が制限されないよう配慮が重要と

北部地域の振興
佐野 洋
(ふじさわ湘風会)

質問 本市の北部地域は豊かな自然環境や広域的な交通網、また複数の大学の立地等、地域のポテンシャルは非常に高い。これらを活用し、まちの付加価値を高められると考えるが、北部振興につながるまちづくりについて聞きたい。

答弁 本市の北部地域のまちづくりについては、これまでに市街化区域は、土地

健康ポイント事業
2020につなげる
東木 久代
(藤沢市公明党)

質問 以前、市民にオリンピックムーブメントが広がるようオリンピックカレンダーを提案し、好評だった。さらに今回、東京2020大会を契機とした健康寿命延伸のためにインセンティブを付与する事業として、健康ポイント「ふじさわ夢チャレンジ2020」が実施されるようだが、具体的な進捗状況を聞きたい。

答弁 本事業の周知に当た

意見書
2件を政府等へ提出
ライドシェアの推進に
対する慎重な検討を求め
る意見書

平成26年1月に施行された、いわゆる改正タクシー特措法は、タクシー市場特有の供給過剰への対応をより効果的に進めながら、タクシーの安全性やサービス水準を一層向上させることを目的として

一方、政府はシェアリングエコノミー検討会議や規制改革推進会議を設置し、家用自動車を用いて有償で運送を行うライドシェアを含めた検討・議論を行っている。

制度に幼稚園類似施設も対象とするよう求める意見書
本年10月から実施される幼児教育・保育の無償化制度に、幼稚園類似施設も無償化の対象となるように、早急に基準を見直すよう、強く要望する。

(以上、要旨を掲載)

ように支援し、子供の保護者の経済的負担の軽減に適切に配慮するという趣旨に反し、大変不公平な制度である。幼稚園類似施設はそれぞれの園独自の特徴を持ち、幼児教育に取り組んでいることから、無償化制度の対象に含めるべきと考える。

幼稚園類似施設通園児が無償化制度の対象から外された場合、幼稚園通園児の保護者との間に大きな経済的負担格差が生まれ、制度の基本理念と逆行することになる。

よって、政府に対し、幼児教育・保育の無償化制度に、幼稚園類似施設も無償化の対象となるように、早急に基準を見直すよう、強く要望する。



自転車利用者の利便性向上が望まれる江の島

江の島大橋の改修 江の島の駐輪スペース拡張 自転車流入量増加に対応

松下 賢一郎

(藤沢市公明党)

質問 東京2020大会に向けて、3車線化が図られる江の島大橋の自転車通行空間における整備の進捗状況と、あわせて江の島島内における駐輪スペースの事

業用地拡張に向けた具体的な内容を聞きたい。

答弁 現在、神奈川県が整備している江の島大橋の自転車通行空間は、幅員1メートルが充てられ、矢羽根設置を行うことで、自転車の車道走行について本年8月下旬までに一定の環境が整う予定と聞いている。

また江の島周辺には、県から借用するなどして供用する200台分の駐輪スペースがあるが、江の島大橋の改修に伴い、自転車の流入量増加が予想されることから、江の島北緑地について、県が令和元年度に発注している整備工事の進捗を踏まえ、事業用地を拡張できるよう調整している。

老朽化する下水道
長寿化対策を実施
栗原 貴司
(市民クラブ藤沢)

質問 本市の下水道は昭和20年頃から設置され、かなりの年数が経過し、今後の老朽化がますます進むと考

えられるが、老朽化対策の取り組みについて聞きたい。

答弁 下水道の老朽化対策は、管路については南部処理区の一部の排水区ごとに、施設は浄化センター又はボ

健康ポイント事業
2020につなげる
東木 久代
(藤沢市公明党)

質問 以前、市民にオリンピックムーブメントが広がるようオリンピックカレンダーを提案し、好評だった。さらに今回、東京2020大会を契機とした健康寿命延伸のためにインセンティブを付与する事業として、健康ポイント「ふじさわ夢チャレンジ2020」が実施されるようだが、具体的な進捗状況を聞きたい。

答弁 本事業の周知に当た

村岡新駅の設置
暮らしや福祉充実を
土屋 俊則
(日本共産党藤沢市議会議員)

質問 村岡地区の目指すべき姿は、特別養護老人ホームや認可保育園、公営住宅などをつくることによる福祉の拠点、暮らしや福祉の充実であり、村岡新駅設置はやめるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

村岡新駅の設置と村岡地区のまちづくりは、新駅を中心とした都市機能の集積を図り、少子超高齢社会を見据えたコンパクトシティと連携して取り組んでいく。

また、JR東日本管内の東海道本線においては90年以上新駅が整備されている中で、東海道本線の駅がもたらすインパクトやポテンシャルを享受しながら、本市の新たな都市拠点を形成でき、持続可能な発展につながる施策であると考える。

神奈川県においても、自立と連携による活力ある県土の形成のための重要な取り組みの一つとして、引き続き県、鎌倉市と連携して取り組んでいく。

常任委員会・特別委員会の動き

村岡地区のまちづくり

村岡新駅概略設計

令和元年度中の着手を目指す

建設経済

建設経済常任委員会は、本市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくり及び村岡新駅設置等については、6月11日に開催され、議案1件、陳情1件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は趣旨了承と決定した。

村岡地区のまちづくりの取組について

村岡地区のまちづくりは、神奈川県、鎌倉市及び本市(以下「3県市」という)で湘南地区整備連絡協議会を設置し、さまざまな取組を続けてきた。



内部統制制度のさらなる充実のために設置された内部統制推進室

総務常任委員会は、6月14日に開催され、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨了承と決定した。

内部統制推進のための運用ガイドライン策定 事務事業の適正な執行を確保

総務

一方、平成31年3月に総務省から「地方公共団体における内部統制制度の導入・実施ガイドライン」が発出され、「地方公共団体は、組織として、予めリスクがあることを前提として、法令等を遵守しつつ、適正に業務を執行すること」が、より一層求められる状況となった。

藤沢市内部統制推進のための運用ガイドライン及び令和元年度内部統制の取組について

本市では、業務に潜むリスク想定とその対処方針をあらかじめ定めておくことの必要性等に重点を置いた内部統制の取組を推進してきた。

鵠南小学校等改築基本設計

各施設の動線や津波避難に配慮

子ども文教

子ども文教常任委員会は、6月13日に開催され、陳情2件を審査した。その結果、陳情は1件が趣旨了承、1件が趣旨不了承と決定した。

鵠南小学校については、老朽化が進んでいる施設の改築に合わせ、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブと一体的に、複合施設として再整備する事業を進めている。

平面計画については、基本構想の案をもとに、学校の保護者を対象とした説明会を開催する。また、今年度中に基本・実施設計業務を完了し、2年度中に1期工事の着手を目指していく。

とし、津波発生時には、この屋上園庭、校舎棟などの屋上部分及び4階の普通教室を避難場所として含めると、最大避難想定人数の見込みが1570人であるのに対し、約3倍の人数を収容できる規模となる。

今後のスケジュールとしては、7月に鵠南小学校区内の住民及び学校・保育園の保護者を対象とした説明会を開催する。また、今年度中に基本・実施設計業務を完了し、2年度中に1期工事の着手を目指していく。

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、6月28日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設再整備について審査した。この日の委員会では、藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況について審査を行った。



鵠南小学校等改築後のイメージ図

藤沢おれんじプラン 地域における一体的な取組を推進する 厚生環境

厚生環境常任委員会は、5月21日と6月12日に開催された。

見反映③リスクの再点検と帳票の改訂④内部統制に関する報告書の作成⑤不祥事等の再発防止のための取組⑥研修の実施⑦内部統制制度における帳票の活用及びリスク事案の共有⑧モニタリングの実施——以上8項目に取り組みしていく。

地方公共団体における組織目的は、住民の福祉の増進を図ることであることか、この組織目的が達成されるよう、適切に内部統制を推進し、事務事業の適正な執行の確保及び質の高い行政サービスの提供に努めていく。

地域における一体的な取組を推進するために、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を目指す地域社会像とする。そして、「一人ひとりが認知症を『自分ごと』として捉えて行動する地域づくり」等の4つの基本理念に基づき、日常生活を継続できる環境整備などの充実を図り、認知症の方の思いや希望に寄り添った支援を行っていく。

令和5年度までの「ALふじさわ」での目標として、目指す地域社会像に向けて、キーワードとして、知る・集う・支えるの3つを掲げ、それぞれの目指す目標と取組の方向性に基き、認知症に関するさまざまな取組の充実等を目指す。

令和5年度までの5年間を当面の目標期間と定め、認知症の方とその家族を支えるために、市民一人一人が

災害対策等特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察した。

補正予算常任委員会

補正予算常任委員会は、6月17日に開催され、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

災害対策等特別委員会

災害対策等特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察した。

議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対
 △：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
市長提出								
1	専決処分の承認について(平成31年度藤沢市一般会計補正予算(第1号))	承認 1.5.14	○	○	○	○	×	×
2	専決処分の承認について(元号の改定に伴う関係条例の整備に関する条例)	承認 1.5.14	○	○	○	○	○	○
3	藤沢市介護保険条例の一部改正について	可決 1.5.21	○	○	○	○	○	○
4	監査委員の選任について	同意 1.5.21	○	○ ^{※1}	○	○	○	○
5	監査委員の選任について	同意 1.5.21	○	○	○	○ ^{※2}	○	○
6	財産の取得について(災害備蓄用簡易トイレ処理袋等)	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
7	財産の取得について(学校教育用ICT機器)	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
8	工事請負契約の締結について(防災行政無線デジタル化更新工事)	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
9	工事請負契約の締結について(藤沢駅北口交通広場再整備工事)	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
10	市道の認定について(藤沢765号線ほか9路線)	可決 1.6.20	○	○	○	○	○	○
11	工業標準化法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
12	消費税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決 1.6.10	○	○	○	○	×	○
13	藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
14	藤沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
15	藤沢市図書館に関する条例及び藤沢市民ギャラリー条例の一部改正について	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
16	藤沢市火災予防条例の一部改正について	可決 1.6.10	○	○	○	○	○	○
17	令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第2号)	可決 1.6.20	○	○	○	○	×	○
議員提出								
1	藤沢市行政改革等特別委員会の設置について	可決 1.5.21	○	○	○	○	○	○
2	藤沢市災害対策等特別委員会の設置について	可決 1.5.21	○	○	○	○	○	○
3	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会の設置について	可決 1.5.21	○	○	○	○	○	○
4	ライドシェアの推進に対する慎重な検討を求める意見書について	可決 1.6.26	○	○	○	○	○	○
5	幼児教育・保育の無償化制度に幼稚園類似施設も対象とするよう求める意見書について	可決 1.6.26	○	○	○	○	○	○
陳情								
1	ライドシェアの推進に対する慎重な検討を求める意見書提出についての陳情	趣旨了承 1.6.11	○	○	○	○	○	-
3	「幼児教育・保育の無償化制度」に関し、国への意見書の提出についての陳情	趣旨了承 1.6.13	○	○	○	○	○	-
4	藤沢市における幼児教育・保育の無償化についての陳情	趣旨不了承 ※3 1.6.13	○	×	×	×	○	-
5	辻堂市民センター改築工事入札前のコスト検証実施についての陳情	趣旨不了承 1.6.14	×	×	×	×	○	-

※1 除斥となった議員：井上裕介
 ※2 除斥となった議員：武藤正人
 ※3 委員長裁決により趣旨不了承

会派名	省略表示	所属議員			
民主・無所属クラブ(10)	民無ク	安藤好幸 友田宗也 竹村雅夫	神尾江里 大矢 徹 有賀正義	谷津英美 永井 譲	清水竜太郎 柳田秀憲
市民クラブ藤沢(9)	市民ク	石井世悟 栗原貴司 井上裕介	西 智 松長由美絵	桜井直人 北橋節男	佐賀和樹 山口政哉
ふじさわ湘風会(7)	湘風会	杉原栄子 吉田淳基	甘粕和彦 神村健太郎	佐野 洋 加藤 一	塚 英明
藤沢市公明党(5)	公明党	平川和美 松下賢一郎	東木久代	武藤正人	塚本昌紀
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	山内幹郎	柳沢潤次
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			

※()内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。

なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。5月臨時会、6月定例会の会議録は8月下旬ころから閲覧できます。

また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

議会を傍聴しませんか

閉会中に開催する諸会議及び9月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。

なお、日時等は、変更になることもありますので、詳しい内容については、下記へお問い合わせください。

本会議等の議場で行う会議において、難聴者用ヒアリンググループの使用を希望される方は、当日に議会事務局へお申込みください。

また、手話通訳及び要約筆記を希望される方は、傍聴希望日の5日前(土日祝日を除く)までに、申込書(ホームページ掲載・議会事務局にて配付)によりお申込みください。

【問合せ】議会事務局 議事課
 ☎ 0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123
 Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

請願と陳情のご案内

9月定例会では、請願・陳情ともに8月28日(水)正午までに提出されたものを審査します。

また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。

※提出方法については議会事務局 議事課にお問い合わせください。

閉会中に開催する諸会議

開催日	開会時刻	会議名
8月 2日(金)	9:30	行政改革等特別委員会
28日(水)	15:30	議会運営委員会
29日(木)	9:30	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会

9月定例会

開催日	開会時刻	会議名
9月 2日(月)	10:00	本会議(議案の説明など)
4日(水)	10:00	本会議(議案の審議など)
5日(木)	9:30	建設経済常任委員会
6日(金)	9:30	厚生環境常任委員会
7日(土)	9:00	災害対策等特別委員会(総合防災訓練現地視察)
9日(月)	9:30	子ども文教常任委員会
10日(火)	9:30	総務常任委員会
11日(水)	9:30	補正予算常任委員会

開催日	開会時刻	会議名
9月 12日(木)	9:30	議会運営委員会
17日(火)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
18日(水)	10:00	本会議(一般質問)
19日(木)	10:00	本会議(一般質問)
20日(金)	10:00	本会議(一般質問)
24日(火)	10:00	本会議(一般質問、決算の説明など)
26日(木)	10:00	本会議(決算の審議など)
	本会議終了後	決算特別委員会
27日(金)	9:30	決算特別委員会
30日(月)	9:30	決算特別委員会
10月 1日(火)	13:30	決算特別委員会
2日(水)	9:30	決算特別委員会
3日(木)	9:30	決算特別委員会
4日(金)	9:30	決算特別委員会
8日(火)	10:00	本会議(決算特別委員会報告、議決など)
	本会議終了後	広報聴取委員会

※各本会議の日には、9:30 から議会運営委員会が開催されます。